

2023年12月14日

各 位

会社名 株式会社タカミヤ
 代表者名 代表取締役会長兼社長 高宮 一雅
 (コード番号2445 東証プライム市場)
 問合せ先 取締役兼常務執行役員
 経営戦略本部長 安田 秀樹
 (TEL. 06-6375-3918)

2024年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2023年5月11日に公表いたしました2024年3月期第2四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期第2四半期累計連結業績予想と実績値の差異(2023年4月1日～2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	22,400	1,300	1,220	770	16.53
実績値 (B)	20,792	1,205	1,485	1,006	21.60
増減額 (B - A)	△1,607	△94	265	236	
増減率 (%)	△7.2%	△7.2%	21.7%	30.7%	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2023年3月期第2四半期)	19,799	763	1,137	746	16.03

2. 差異の理由

当第2四半期連結累計期間におきまして、販売事業においては、仮設部門において、「タカミヤプラットフォーム」に対する関心は高く、新規調達、入替及び追加の新品購入案件の引き合いはあるものの、先行き不透明な状況を懸念し、購入時期の延期や、レンタル使用の動きは引き続き見られました。

レンタル事業においては、建築分野において首都圏の維持修繕工事を中心にレンタル需要は依然として高く、「I q システム」の貸出量が堅調に推移し、土木分野においても足元で現場が増加傾向にあり、建設用仮設機材の貸出量は前年を上回る高水準で推移いたしました。

海外事業においては、販売、レンタル事業共に順調に推移しております。

経常利益は、海外子会社へのグループ貸付金に対する評価替えによるもので、円安の動向が継続したため、為替差益の計上となり、当初の予想を上回る結果となりました。

なお、2024年3月期通期連結業績予想数値につきましては、為替相場の変動など、将来における不確実性等を勘案し、2023年5月11日に公表しました業績予想数値を据え置くことといたします。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上